



体育祭に修学旅行、音楽会や校外活動。学びがいっぱい！

～言葉で気持ちや考えを伝え合い、共に取り組む2学期を～

44日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。始業式で生徒指導部教員からの話の中で、「楽しい夏休みだった人？」の問いにほとんどの生徒が手を挙げた様子に、厳しい暑さの夏休みだったけれど、よい時間を過ごせたのだらうなとうれしくなりました。まだまだ酷暑は続きますが、たくさんの学びの活動がある2学期を、一人一人にとっても、学年・学校にとっても実り多いものにしていきましょう。

始業式では私から、今学期のそれぞれの学びの取組に「自分の目標をもって、積極的に取り組んでいくこと」、そしてそれらが充実したものとなるために、「1学期以上に人との言葉のやり取りを行って、気持ちや考えを伝えあうこと」を話しました。『共に取り組むからこそ 喜びがある』、そんな2学期を江東中みなで目指していきます。保護者の皆様、地域の皆様、今学期も江東中教育へのご理解、ご協力をお願いします。

令和7年度江津市少年の主張大会！

5日（金）には今年度の江津市少年の主張大会がミルキーウェイホールで開催されました。本校からは3年生の上笹山夢叶さん、松田依織さんが学校代表として発表に臨みました。校内大会とは全く違う緊張感の中、夏休みに推敲したり練習し



たりした成果を、しっかりと発揮しました。上笹山さんは、ぶつかり合ってこそ得られた「9年間のつながり」とそんな同級生への思い、そしてこれから出会う仲間への思いを「大好きだよ」の言葉に込めて述べました。松田さんは、修学旅行直前のけがをとおして、バリアフリー化されている街の実態や周囲の人への感謝を実感したこと、そして、「心のバリアフリー」こそ、すぐにでもできる「新しい世界」だという気付きを緊張に負けず述べました。結果は2人とも優良賞でしたが、たくさんの聴衆の前で、江東中生のやさしさが会場にあふれた発表でした。



体育祭決起集会を行いました

4日（木）には、体育祭の決起集会が開かれました。27日（土）の本番に向けて、これから準備が進められていきますが、生徒会担当教員と生徒会



本部、3

年生のリーダーたちを中心に、係の仕事分担や用具の準備、3年生の色別パフォーマンスの準備や練習、近づくにつれて種目の練習などが進んでいきます。決起集会では、生徒会長から体育祭に込める思いや目標、運営のための役割分担等が説明され、各係長のあいさつの後、学年ごとに分かれて自分の仕事分担や目標づくりを行いました。まだまだ暑い9月。体育祭当日まで、さらに熱くなっていきそうです。



9月27日（土）午前中、本校体育祭を開催します。ご案内は学校運営協議会委員のみなさまにしか出しておりませんが、地域の方もご遠慮なく観覧に来校ください。応援パフォーマンスは 11:00 開始予定です。

「令和7年度全国学力・学習状況調査」、粘り強さは○、基礎的事項、家庭学習は△

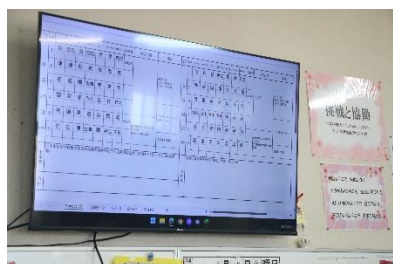
今年度の全国学力・学習状況調査の結果が戻り、学校でも分析と改善の手立てを検討し整理しました。以下の表に示したものがそれです。本校生徒（調査の対象は3年生）の特徴としては、**粘り強く課題に取り組む力は育っているが（無回答の少なさ、記述問題への取組）、基礎的事項の定着不足や、家庭学習時間の少なさによる正答率の低さが課題**となっているといえます。続けて授業改善と家庭学習の定着を図ります。

教科等	強み	弱み	弱みに対する手だて
国語	・全国、島根平均と比較して、短答式は+約16%、記述式は同程度の正答率である。 ・内容で見ると、書くことは+約5%の正答率である。 ・記述式では全国、県の無回答率は20～30%であるのに比べ、本校は0～10%となっている。全体として問題に対して根気強く取り組もうとする姿勢がうかがえる。特に記述式問いへの意欲は高い。	・全国、島根平均と比較して、選択式は－約11%の正答率である。問題文や選択肢を正しく読み取れていない様子も見える。自分の考えを伝える表現の工夫、論理の展開に注意した話の構成の工夫に関する問い(選択式)の正答率が特に低い。 ・話すこと聞くことの正答率は－約16%と、最も低い。 ・全体的に漢字・語句の理解に課題がある。	・問題文と選択肢の内容を適切に読む取ることができるよう、定期テスト前に選択式問いの解き方を学ぶ。また、テスト直しの時間に、選択肢ごとに精査する時間を取る。 ・漢字・語句の使い方に課題がある生徒が多いので、現在の50問漢字テストに合わせて、漢字・語句に関する学習課題を用意する。
数学	・選択式の問題や「データの活用」の領域の正答率は他の問題に比べて、県平均と同等程度であるため、直感的に解く問題はしっかり取り組むことができている。 ・全体的に無回答率は低い。	・思考・判断・表現に関する問題の正答率が、県や国と比べて、10ポイント以上低い。 ・全体の20%しか解けてない問題が15問中、8問もあった。 ・増加量や相対度数、証明といった数学の専門用語が多い問題への苦手意識が見受けられた。	・基礎の定着を図るため、短問形式の問題を用意し、ドリル学習を行う機会を増やす。 ・普段の授業から、生徒が問題文から適切に文章を読み取る活動を増やす。また、数学の専門用語を積極的に使い、どんな解き方をすればよいか説明する活動を増やす。
理科	・探究の過程における自分の振り返りを記述する問題の正答率が全国・島根県平均と比較してやや高い。 ・全体的に無回答率が低い。	・分野別に見ると、化学分野の正答率が選択式、短答式、記述式ともに低い。基礎的な知識の定着が不十分であることが考えられる。 ・動画を見て答える問題の正答率が低い。	・基本的な知識の定着を目指した反復練習を定期的に行う。 ・授業の中で実験結果からわかることを互いに説明し合う場面を充実させる。 ・教科書のQRコード等を活用し、動画等も取り入れた授業を積極的に行う。
質問紙から見取れる本校生徒の弱みと、それに対する改善の手立て	【国との比較において、比較的大きな差異(マイナス)がみられるもの ⇒ 下位の項目 ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか ・数学の授業の内容はよく分かりますか ・理科の勉強は得意ですか ・理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか ・文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれてることを理解することができますか ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ⇒ 右下のグラフ		・教育相談等の機会の他に、日常での声掛けや見取りの機会を多く持つ ・授業で「理解した」と実感できる場面を増やす。 ・スモールステップの授業構成にする ・生徒の自信につながる問いや声掛けを工夫する。 ・家庭学習の取組方法やメディアの利用について、全体指導、個別面談を継続して行う。

感謝！ご寄贈いただきました

校区の**永大整備工業（株）**様から、地域貢献事業として「校庭整備用車両」と「職員室用大型モニター」のご寄贈をいただきました。1学期後半から校庭整備は格段に楽になりましたし、大型モニターがあることで、1日の

予定や出張等の確認などの職員室での仕事の見える化、スムーズな授業準備など、教職員の働き方改革に大いに活用させていただいています。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。



(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

